

みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!



本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

横浜市立本郷小学校
学校学年便り 6月号
令和4年5月30日

紫陽花(あじさい)の花に想うこと



アーチ門の紫陽花のつぼみ

副校長 武士 雅子

樹木の緑が目まぶしい季節になりました。旧暦で6月は、雨の日が続く日が多いため、天の水がなくなるという意味で、「水無月(みなづき)」といます。これからは梅雨の時期になります。梅雨と言えば、紫陽花(あじさい)の季節です。学校にもアーチ門のそばに紫陽花の花が育っています。まだ、緑の小さなつぼみの状態ですが、これからの変化が楽しみです。

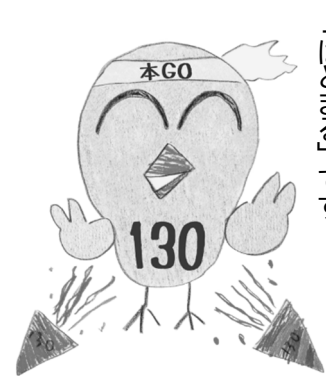
紫陽花は、色が変わる様子から、別名「七変化」と言います。中学時代の恩師が「紫陽花は、育つ土壌によって、花の色の変化が変わる」と教えてくださったことを思い出しました。土の酸度と花に含まれる色素の反応によって、あのあざやかな色の変化が生まれるそうです。

アーチ門のそばで見た、緑の小さなつぼみは、本郷小学校の子ども達と同じなのかもしれません。家庭や地域、学校などでの経験を吸い上げながら、感じ、学び、変化しながら自らの色で花開かせていくのではないのでしょうか。一つひとつ色が違うたくさんの花が集まり、丸い紫陽花のような、個性にあふれるクラスや学年、学校ができあがっていくのを、私達は支え見守りながら楽しみにしています。

新学期が始まり、2ヶ月が経とうとしています。大きなランドセルを背負って登校している1年生が、少し大きく感じるようになってきています。気持ちのよいあいさつができる子、友達によりそうことができる子、友達に明るく声をかける子、授業中に真剣な表情で学習に向かう子、50m走を全力で走りきる子など、それぞれの場面での成長の様子も見られます。

現在、本郷小学校では創立130周年記念に向けての準備を進めています。家庭・地域・学校の色とりどりの花が一体となり、130周年記念という大輪の花が咲くように盛り立てていきたいと考えています。

梅雨の時期、心や体の疲れがたまりやすくなります。学校では、一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、心に寄り添う支援や指導を行っていきます。ご家庭や地域の皆様には、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



創立130周年記念マスコット
「The Honcho」ちゃん。